

# 環境整備Q & A

## 診療所のスタッフナースさん（認定）より

どの商品が適正なのか判断しづらい。シートの消毒効果、厚さ、拭きやすさ、価格から検討してどういったものがおすすめなのか知りたい。



- ・ 薬液の消毒効果は、対象物にどれだけの（濃度&時間）しっかりと接触できたかに影響される。
- ・ アルコールは揮発性がたかいので注意が必要。
- ・ 拭きやすいと感じるのは、物理的除去ができていないかも
- ・ 単純な価格比較でなく一枚でふける範囲も確認する必要がある。

## 「おすすめ」

- ・ バイオトロールサニタイジングワイプEX



**ナースさんより**

**環境整備に使ったクロスは感染ゴミ？**

**電カルをクロスで拭くのは精密機器に悪い？**



## 環境整備に使ったクロスは感染ゴミ？

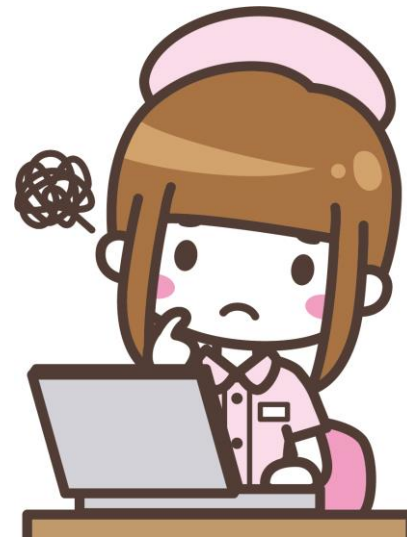
廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアルに準ずると血液等付着しておらず感染症法1類～5類に該当しなければ非感染性廃棄物となる

## 電カールをクロスで拭くのは精密機器に悪い？

- ・ まず電カールをクロスで拭く必要性があるのか？  
(当院では実施していない)
- ・ 消毒薬が内部に侵入し故障する可能性がある
- ・ NECがHPでパソコンの消毒方法について明記している
- ・ 旭化成ピタテック<sup>®</sup>を使用する等の工夫

## ナースさんより

施設の経営状況もあり、ワイプなどディスプレイタイプの物品購入は困難です。次亜塩素酸ナトリウムを希釈して使用していますが、濃度や保管方法に問題があります。品薄の中、どのように環境整備をしていこうかと悩んでいます。



- 次亜塩素酸ナトリウムを希釈する場合は、濃度管理が大切  
(環境清拭→0.02%~0.5% or 0.1%)
- 蓋つきの容器で保管する (時間と共に濃度が変化する)
- 作り置き厳禁 (毎日交換)
- 接触性皮膚炎 (必ず手袋着用)
- 呼吸器刺激症状 (マスクを着用)
- 他の薬剤と混入すると塩素ガス (有毒) 発生リスク
- 金属腐食作用 (清拭後にふき取りが必要)
- 限られた場面などに限定するのが望ましい  
(次亜塩素酸ナトリウムひとつでの環境整備は困難)

## 療養型病院の薬剤部長さんより

価格、効果も大事ですし、多彩なラインナップの中から院内の適材適所にどのような製品を配備していいか悩ましいです。

種類が多すぎても現場では使いこなせないみたいです。





- ・ シンプルに2種類程度にして感染リスクの高い部署（医療を行うエリア、汚染のあるエリア）とそうでない部署（清潔を保ちたいエリア、一般のエリア）に分けて考えてはどうでしょうか？

## 急性期病院の看護部長さんより

クロスで拭くか、環境用ワイプで拭くのがいいのかコスト面も含め知りたいです



## クロスニアルコールクロスとすれば・・

- ・ 環境用ワイプの方がベターかと考える
- ・ 必ずしも消毒は必要ない（講演資料の4枚目参照）
- ・ 揮発性が高く引火性もある（多量に使用しにくい）
- ・ 対象物との接触時間・量ともに不明瞭な可能性
- ・ 何枚も使用することになり、結果として費用増かも

**総合病院のナース（認定）さんより**

**病院に最低限置いておくべき環境整備用環境クロスの  
薬剤は何か**

**第4アンモニウム塩と高濃度アルコールの2種類  
などというように明確なものがあれば教えてほしい**



- ・ **どの感染症にも対応出来るクロス1種類がベスト**

**2種類にするなら一般細菌、エンベロープウイルスに効果のあるクロスとノンエンベロープウイルス、芽胞に効果のあるクロス2種類が必要**

## 精神科病院のナース（主任）さんより

現在の環境整備でのクロスの使用はペーパータオルにアルコールを噴霧し、消毒している。

クロスを購入するメリット（例：費用対効果）やデメリットを知りたい



ペーパータオルにアルコールを噴霧して清拭するという発想は理解できるし、こういう施設もあろうかと推察する

- ・揮発性が高く引火性もある（多量に使用しにくい）
- ・洗浄効果が乏しい（汚れを落とせない）
- ・対象物との接触時間も短い場合が多いと考えられる
- ・対象物をいためる可能性がある（特にプラスチック製品）
- ・ペーパータオルを莫大に使うことになる  
（ペーパータオルを使いまわして噴霧することはできない）
- ・その都度噴霧；消毒薬の噴霧は基本的にはNG（曝露リスク）
- ・環境クロス導入のメリットは業務の効率化・遵守率向上など

## 急性期病院のナースさんより

環境クロスなどは特に、調達部門からは1枚単価で切り替えられがちです。実際に使ってみると、拭き斑が出やすかったり、清拭面に**繊維残り**があったりして複数枚使用しなければならなかったり、取り出し口の形状の問題で必要以上に出てきて**複数枚が無駄**になったり、どちらも結果としては切り替え前の1枚単価以上のコストが発生したりすることが往々にしてあります。

調達部門側では使用量が増えたのだらうと勝手な解釈をされていることもあります。コストを抑えつつ、使い勝手のよい製品を選定する難しさを感じています。



- ・ 現在のおすすめはマイクロファイバークロス

吸水性と速乾性に優れ、埃や汚れを吸着し微生物除去効果が高い

多少1枚単価が高価でもクロスの拭き取り面積、クロスの頑丈さ等を考慮し、現場を優先してもらえるような働きかけが必要。

導入時のキーパーソンは？

現場でアンケートを取っても良いかも？

(アンケートはメーカーさんが作成したものもある)

## 大学病院のナースさんより

ルビスタを使用して、ワゴンや棚など金属製品を拭くと白く成分が残るが、この白いところに逆に菌が付着しないのか気になる



- ・ 環境クロスで拭いたあとの洗剤成分の拭き残りは、  
“環境クロスあるある”です。（気になりますよね～）
- ・ きちんと拭いたという証拠には・・・なる！
- ・ ご心配のようなそこが余計に汚染するというような事はないかと考える。

## 診療所（透析室勤務）のナースさんより

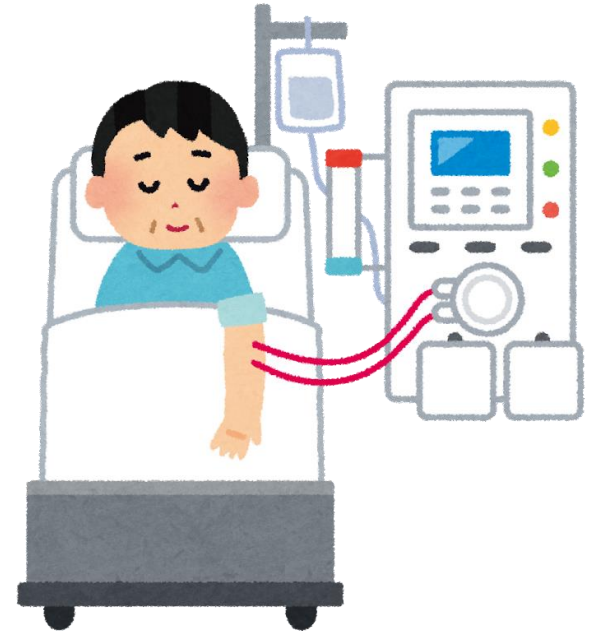
購入の決め手は、コロナ、ノロ、対応品であること・安価な事・TV画面やプラスチック、ゴム製剤等拭ける材質範囲が多いこと。取り扱いやすいこと。



- 透析室であれば肝炎（HBs抗原、HCV抗体、HIV抗体）に対応する必要がある。（次亜塩素酸Na等）
- コロナウイルス→基本どのクロスでも対応可能
- ノロウイルス→選択肢が狭くなる（次亜塩素酸Na等）
- 安価→第四級アンモニウム塩、アルコール等の商品はある
- 材質範囲が広い等→第四級アンモニウム塩

## 診療所のナースさんより

透析クリニックで使用したいがコスト面でなかなか環境クロスへの切り替えが出来ていない。



- ・ 現在の使用は何でしょうか？雑巾でしょうか？
- ・ 雑巾で清拭する場合、その都度、面を変える必要性、次亜塩素酸希釈する手間、透析機器を傷める危険性等がデメリット
- ・ 現状のコスト、今後のコスト試算を行う
- ・ 透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（五改訂版）も参考にする

## 介護施設のナースさんより

施設なので、あまり高いものは購入できない。  
普通の手指消毒用のアルコールを布にふきかけて拭くことが多い。生活用品が多い施設では、どのようなクロスが良いのか知りたい。





- 手指消毒用のアルコールなので、濃度はOK！
- 布がアルコールを吸収してしまう可能性  
→アルコールが多量に使用する
- 対象物との接触時間も短い場合が多いと考えられる
- 対象物をいためる可能性がある（特にプラスチック製品）
- 布を使いまわして噴霧することは好ましくない
- 消毒薬の噴霧（化学曝露→健康被害のリスク）
- 生活用品に対して、アルコールより環境クロスが望ましい  
→洗浄効果が必要（汚れを落としたい）

## 急性期病院のナースさんより

福祉施設で費用の問題があり、物品の質より価格（安価）が優先されます。費用対効果を考慮すると、環境クロスのほうが良いと考えますが、導入困難です。粘り強く交渉しています。



- ・費用問題はどこでもありますよね！
- ・スタッフの業務効率化とその効果を評価  
（療養環境・業務環境・ホスピタリティの改善）
- ・業務効率で得られる時間  
（環境整備自体の質改善や他のケアなどが充実）

## 急性期病院のナース（感染管理認定）さんより

環境整備の必要性を説明していますが、後回しになり実施されていないことが多々あります。毎日の環境整備を実施する仕組みをどのように作れば良いか悩んでいます。



- **5S運動の実施**

  - (整理、整頓、清掃、清潔、躰)

- **院内サーベイランス、フィードバックは実施は？**

  - **MRSA、ESBL等の薬剤耐性菌、院内感染の現状**
  - **なぜ後回しになるのか？聞き取り調査**
  - **ルーチンワークで必ず環境整備をされているはず  
その時に併せて実施を依頼**

## 急性期病院のナースさんより

コロナ流行から環境整備を1日2回実施しています。  
汚染時以外で推奨される環境整備の回数を教えてください。



- ・ 2回/日 実施 素晴らしい！！

高頻度接触面（ドアノブ、手すり等）は1日1回以上

低頻度接触面（床等）は1日1回

他は特に決まりはありません

## 総合病院のナースさんより

短時間で手短かに環境整備するには、どうしたら良いのか？  
他施設では、どのようにされているのか気になる。





- **短時間でかつ手短かに . . .**
  - 環境クロスの導入 & 一本化を検討してみる
  - 方法や手順の見直し
- **単純明快な業務（環境整備）に統一できることが望ましい**  
**（対象物や場面における使い分けは複雑 & 煩雑 → 質低下）**

## 総合病院の臨床検査技師さんより

アルコールと四級アンモニウムを使い分けを知りたいです。  
また両方購入せず、一製品だけ導入の場合の見極め方法を教えて頂きたいです。



- **基本は第四級アンモニウム塩**  
**日常的な環境整備で使用**  
除菌剤として洗淨成分配合  
スペクトラムは狭いが拭き取り効果によりある程度除去  
腐食作用も少ない
- **アルコール**  
**一般細菌の除去を目的とした環境整備**  
微生物に対するスペクトラムが広い  
洗淨成分が含まれていない製品は汚れがあると効果減弱

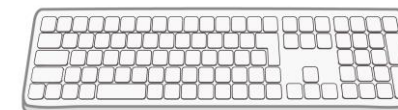
## 急性期病院のナース（感染管理認定 師長）さんより

良いワイプを導入しても、良いタイミングで使用できない。  
外来では無意味といわれることへのアプローチ方法、キーボードをガシガシ拭いて、薬液が入り故障など現場への周知が難しいです。



**手指衛生と環境整備**は感染対策の基本と考えるが、  
業務が煩雑になればなるほど後回しにされがちである  
粘り強くアプローチ方法を工夫しながら・・・  
永遠のテーマであると考え

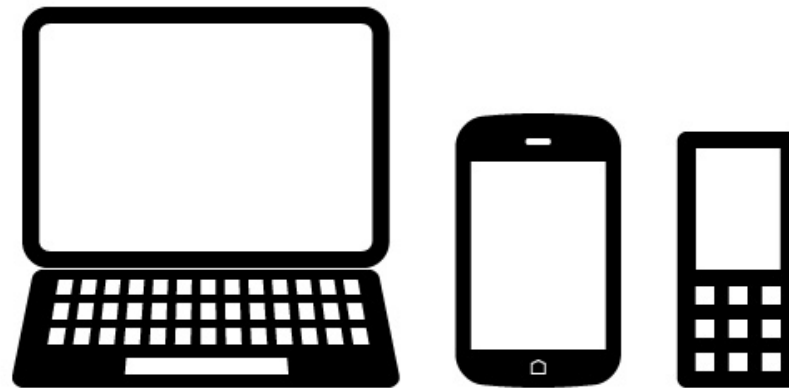
キーボードへの薬液の混入による故障をふせぐために、  
当院は、カバーをしている  
そのカバーならガシガシ拭ける



**急性期病院のナース（感染管理認定）さんより**

**電子機器に使用できる、PCの画面やスマートフォン、  
液晶タイプの機器の消毒に使えるものを聞きたい。**

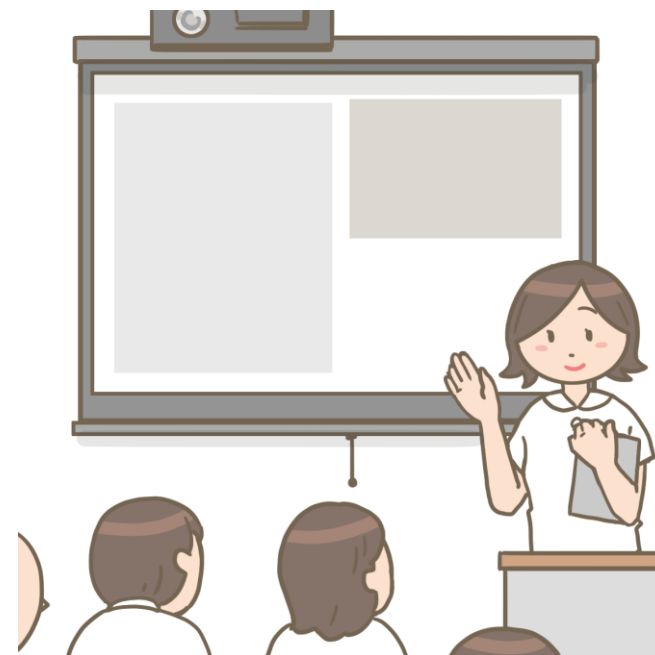
**導入されている環境クロスの種類・使い分けについて**



- NECのPC、iPhoneはアルコールを推奨
- 当院が導入しているクロス  
サラサイドクロス  
バイオトロールサニタイジングワイプEX

## 急性期病院のナース（感染管理認定）さんより

費用対効果の計算方法、事務や上層部へのプレゼン方法  
と納得の取り付け方、などが知りたい。





- ・費用対効果の計算方法

- 年間：CDI件数×治療薬×入院日数

- （MRSAやESBL産生菌での試算も可能）

- 年間：環境クロス使用コスト

- ・上層部を納得させる方法

- 1枚あたりで拭ける面積（1枚単価は高くても・・・）

- きちんとした製品を使用すれば感染者は減る